



2021年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月9日
上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社
 コード番号 5110 URL <https://www.srigroup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長 (氏名) 大川 直記 TEL 078-265-3000
 四半期報告書提出予定日 2021年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	657,019	21.6	32,071	306.2	29,861	358.7	20,726	—	39,773	—
2020年12月期第3四半期	540,247	△16.1	7,896	△67.3	6,510	△71.7	△6,793	—	△38,377	—

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益	売上収益 事業利益率
	円 銭	円 銭	%
2021年12月期第3四半期	78.80	—	4.9
2020年12月期第3四半期	△25.83	—	1.5

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	1,034,397	490,253	477,512	46.2	1,815.66
2020年12月期	974,805	467,097	454,743	46.6	1,729.05

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期第3四半期	37,743	△37,565	△5,537	72,353
2020年12月期第3四半期	67,997	△36,258	13,798	101,688

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	35.00	35.00
2021年12月期	—	25.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	925,000	17.0	46,000	6.0	43,000	11.1	29,000	28.3	110.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期3Q	263,043,057株	2020年12月期	263,043,057株
2021年12月期3Q	46,598株	2020年12月期	41,905株
2021年12月期3Q	262,998,854株	2020年12月期3Q	263,002,805株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
	百万円	百万円	%
売上収益	540,247	657,019	21.6
タイヤ事業	461,029	551,895	19.7
スポーツ事業	49,799	76,102	52.8
産業品他事業	29,419	29,022	△1.4
事業利益又は 事業損失(△)	7,896	32,071	306.2
タイヤ事業	7,713	23,297	202.1
スポーツ事業	△1,861	7,164	—
産業品他事業	2,032	1,577	△22.4
調整額	12	33	—
営業利益	6,510	29,861	358.7
親会社の所有者に 帰属する四半期利益又は 親会社の所有者に 帰属する四半期損失(△)	△6,793	20,726	—

(注) 事業利益又は事業損失(△)は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

為替レート的前提

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
1米ドル当たり	108円	109円	1円
1ユーロ当たり	121円	130円	9円

当第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)の世界経済は新型コロナウイルス感染症の影響により一部で依然として厳しい状況にありますが、全体としては回復が続いています。

我が国経済においては個人消費や輸出は弱い動きとなっている一方で、生産や雇用情勢には底堅さも見られました。経済全体としては依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、そのテンポは弱まっています。

当社グループを取り巻く情勢につきましては、為替の円安により輸出環境が改善したことに加え、米国や中国をはじめ多くの市場で回復基調となるなど明るい兆しも見えたものの、天然ゴム価格や石油系原材料価格の上昇、海上輸送コスト高騰の影響を受けています。

このような情勢のもと、当社グループは2025年を目標年度とした中期計画の実現に向けて経営基盤の強化を目指し全社プロジェクトを強力に推進するとともに、世界の主要市場に構築した製販拠点の効果の最大化を目指して各地の顧客ニーズに対応した高機能商品の開発・増販に取り組むなど、グローバル体制による競争力の強化を推進しました。

この結果、当社グループの売上収益は657,019百万円(前年同期比21.6%増)、事業利益は32,071百万円(前年同期比306.2%増)、営業利益は29,861百万円(前年同期比358.7%増)となり、税金費用を計上した後の最終的な親会社の所有者に帰属する四半期利益は20,726百万円(前年同期は6,793百万円の損失)となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(タイヤ事業)

タイヤ事業の売上収益は、551,895百万円(前年同期比19.7%増)、事業利益は23,297百万円(前年同期比202.1%増)となりました。

国内新車用タイヤは、世界的な半導体不足の影響等により自動車メーカーの生産台数が減少したことなどの影響はありましたが、前年は新型コロナウイルス感染症の影響で販売が落ち込んだこともあり、売上収益は前年同期を上回りました。

国内市販用タイヤは、昨年発売した「VEURO VE304 (ビューロ ブイイー サンマルヨン)」をはじめとする「ダンロップ」ブランドの低燃費タイヤ、また、気候に左右されにくいオールシーズンタイヤ「ALL SEASON MAXX AS1 (オールシーズンマックス エーエスワン)」などの拡販に努めた結果、前年より販売を伸ばすことができ、売上収益は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤについても国内新車用タイヤ同様、世界的な半導体不足の影響はありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復傾向により売上収益は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、アジア・大洋州地域では経済回復が見られる中国を中心に販売を伸ばしました。欧州・アフリカ地域においては市況回復が続く中、販売力の強化に取り組んだこともあり販売本数を伸ばすことができました。米州地域においては北米でSUV用タイヤを中心にセルアウトが好調でワイルドピークシリーズなどの高機能商品を含め販売を伸ばすことができましたが、輸送コンテナの需給逼迫により輸入品の輸送量に制約が見られたほか、輸送費高騰の影響を大きく受けました。南米においても旺盛な需要を背景に販売を伸ばすことができました。

以上の結果、タイヤ事業の売上収益は前年同期を上回り、事業利益についても増益となりました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上収益は、76,102百万円(前年同期比52.8%増)、事業利益は7,164百万円(前年同期は1,861百万円の損失)となりました。

ゴルフ用品は新型コロナウイルス感染症に伴う市場縮小に反転が見られたほか、ゴルフ場の利用者数増加もあり、主要各市場を中心に販売を伸ばし売上収益は前年同期を上回りました。

また、テニス用品も同様に、売上収益は前年同期を上回りました。

ウェルネス事業では新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の影響はあったものの、運動意欲の高まりもあり売上収益は前年同期を上回りました。

以上の結果、スポーツ事業の売上収益は前年同期を上回り、事業利益についても増益となりました。

(産業品他事業)

産業品他事業の売上収益は、29,022百万円(前年同期比1.4%減)、事業利益は1,577百万円(前年同期比22.4%減)となりました。

インフラ系商材での大型物件の減少の一方、医療用精密ゴム部品やOA機器用精密ゴム部品は受注増加による販売増となり、ほぼ前年並みとなりました。

以上の結果、産業品他事業の売上収益は前年同期を下回り、事業利益についても減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減
	百万円	百万円	百万円
資産合計	974,805	1,034,397	59,592
資本合計	467,097	490,253	23,156
親会社の所有者に 帰属する持分	454,743	477,512	22,769
親会社所有者帰属 持分比率(%)	46.6	46.2	△0.4
1株当たり親会社 所有者帰属持分	1,729円05銭	1,815円66銭	86円61銭

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は次のとおりであります。

資産合計は、季節要因による営業債権及びその他の債権の減少があったものの、棚卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比べて59,592百万円増加し、1,034,397百万円となりました。

負債合計は、有利子負債の増加などにより、前連結会計年度末に比べて36,436百万円増加し、544,144百万円となりました。

また、当第3四半期連結会計期間末の資本合計は490,253百万円と、前連結会計年度末に比べて23,156百万円増加し、うち親会社の所有者に帰属する持分は477,512百万円、非支配持分は12,741百万円となりました。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は46.2%、1株当たり親会社所有者帰属持分は1,815円66銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきまして、足元の原材料価格の上昇、海上輸送コスト高騰などの環境変化を反映して、2021年12月期第2四半期決算発表時(2021年8月5日)の予想を次のとおり変更しております。

通期(2021年1月1日～2021年12月31日)

	今回予想	前回発表予想	増減	増減率	(ご参考) 前期実績
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上収益	925,000	930,000	△5,000	△0.5	790,817
タイヤ事業	787,000	794,000	△7,000	△0.9	679,860
スポーツ事業	98,000	95,000	3,000	3.2	70,257
産業品他事業	40,000	41,000	△1,000	△2.4	40,700
事業利益	46,000	55,000	△9,000	△16.4	43,388
タイヤ事業	37,000	46,500	△9,500	△20.4	40,949
スポーツ事業	7,000	6,000	1,000	16.7	△741
産業品他事業	2,000	2,500	△500	△20.0	3,186
調整額	—	—	—	—	△6
営業利益	43,000	52,000	△9,000	△17.3	38,701
親会社の所有者に 帰属する当期利益	29,000	35,500	△6,500	△18.3	22,596

為替レート的前提

	今回予想	前回発表予想	増減	(ご参考) 前期実績
1米ドル当たり	110円	109円	1円	107円
1ユーロ当たり	131円	130円	1円	122円

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	74,203	72,353
営業債権及びその他の債権	179,635	162,044
その他の金融資産	1,399	5,132
棚卸資産	151,253	213,668
その他の流動資産	30,162	40,460
流動資産合計	436,652	493,657
非流動資産		
有形固定資産	389,184	384,609
のれん	23,378	25,465
無形資産	41,402	41,869
持分法で会計処理されている投資	4,323	4,385
その他の金融資産	33,159	37,414
退職給付に係る資産	32,451	32,900
繰延税金資産	13,449	13,247
その他の非流動資産	807	851
非流動資産合計	538,153	540,740
資産合計	974,805	1,034,397

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	62,256	109,273
営業債務及びその他の債務	123,261	125,395
その他の金融負債	12,816	11,945
未払法人所得税	7,790	6,067
引当金	1,170	1,628
その他の流動負債	38,835	49,137
流動負債合計	246,128	303,445
非流動負債		
社債及び借入金	155,177	133,066
その他の金融負債	48,164	47,602
退職給付に係る負債	22,202	23,115
引当金	2,189	1,608
繰延税金負債	11,282	12,579
その他の非流動負債	22,566	22,729
非流動負債合計	261,580	240,699
負債合計	507,708	544,144
資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	39,486	39,569
利益剰余金	461,720	466,684
自己株式	△77	△83
その他の資本の構成要素	△89,044	△71,316
親会社の所有者に帰属する持分合計	454,743	477,512
非支配持分	12,354	12,741
資本合計	467,097	490,253
負債及び資本合計	974,805	1,034,397

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
売上収益	540,247	657,019
売上原価	△394,978	△473,556
売上総利益	145,269	183,463
販売費及び一般管理費	△137,373	△151,392
事業利益	7,896	32,071
その他の収益	1,947	1,814
その他の費用	△3,333	△4,024
営業利益	6,510	29,861
金融収益	933	3,834
金融費用	△12,612	△2,787
持分法による投資利益	118	41
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△5,051	30,949
法人所得税費用	△2,048	△9,041
四半期利益又は四半期損失 (△)	△7,099	21,908
四半期利益又は四半期損失 (△) の帰属		
親会社の所有者	△6,793	20,726
非支配持分	△306	1,182
四半期利益又は四半期損失 (△)	△7,099	21,908
1株当たり四半期利益又は 1株当たり四半期損失 (△)		
基本的1株当たり四半期利益又は 基本的1株当たり四半期損失 (△) (円)	△25.83	78.80

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期利益又は四半期損失 (△)	△7,099	21,908
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△1,394	2,399
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	7	95
在外営業活動体の換算差額	△29,891	15,371
税引後その他の包括利益	△31,278	17,865
四半期包括利益	△38,377	39,773
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△36,907	38,473
非支配持分	△1,470	1,300
四半期包括利益	△38,377	39,773

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2020年1月1日時点の残高	42,658	39,486	444,783	△75	△76,471	△278
四半期損失(△)			△6,793			
その他の包括利益					△28,726	7
四半期包括利益合計	—	—	△6,793	—	△28,726	7
自己株式の取得				△1		
自己株式の処分		△0		0		
配当金			△7,890			
連結子会社の増資による持分の増減						
支配継続子会社に対する持分変動						
利益剰余金への振替			△21			
資本剰余金への振替		0	△0			
所有者との取引額合計	—	△0	△7,911	△1	—	—
2020年9月30日時点の残高	42,658	39,486	430,079	△76	△105,197	△271

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2020年1月1日時点の残高	10,697	—	△66,052	460,800	14,737	475,537
四半期損失(△)			—	△6,793	△306	△7,099
その他の包括利益	△1,395		△30,114	△30,114	△1,164	△31,278
四半期包括利益合計	△1,395	—	△30,114	△36,907	△1,470	△38,377
自己株式の取得			—	△1		△1
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△7,890	△1,592	△9,482
連結子会社の増資による持分の増減			—	—		—
支配継続子会社に対する持分変動			—	—		—
利益剰余金への振替	21		21	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	21	—	21	△7,891	△1,592	△9,483
2020年9月30日時点の残高	9,323	—	△96,145	416,002	11,675	427,677

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年1月1日時点の残高	42,658	39,486	461,720	△77	△99,270	△241
四半期利益			20,726			
その他の包括利益					15,253	95
四半期包括利益合計	—	—	20,726	—	15,253	95
自己株式の取得				△7		
自己株式の処分		△1		1		
配当金			△15,780			
連結子会社の増資による持分の増減						
支配継続子会社に対する持分変動		83				
利益剰余金への振替			19			
資本剰余金への振替		1	△1			
所有者との取引額合計	—	83	△15,762	△6	—	—
2021年9月30日時点の残高	42,658	39,569	466,684	△83	△84,017	△146

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素			合計		
	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	確定給付制度の再測定	合計			
2021年1月1日時点の残高	10,467	—	△89,044	454,743	12,354	467,097
四半期利益			—	20,726	1,182	21,908
その他の包括利益	2,399		17,747	17,747	118	17,865
四半期包括利益合計	2,399	—	17,747	38,473	1,300	39,773
自己株式の取得			—	△7		△7
自己株式の処分			—	0		0
配当金			—	△15,780	△1,801	△17,581
連結子会社の増資による持分の増減			—	—	1,325	1,325
支配継続子会社に対する持分変動			—	83	△437	△354
利益剰余金への振替	△19		△19	—		—
資本剰余金への振替			—	—		—
所有者との取引額合計	△19	—	△19	△15,704	△913	△16,617
2021年9月30日時点の残高	12,847	—	△71,316	477,512	12,741	490,253

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益又は税引前四半期損失 (△)	△5,051	30,949
減価償却費及び償却費	50,478	50,657
受取利息及び受取配当金	△933	△1,120
支払利息	2,948	2,035
持分法による投資損益 (△は益)	△118	△41
棚卸資産の増減額 (△は増加)	8,097	△57,274
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	30,268	22,671
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△24,544	1,904
その他	17,853	2,920
小計	78,998	52,701
利息の受取額	605	657
配当金の受取額	315	467
利息の支払額	△2,731	△1,808
法人所得税の支払額	△9,190	△14,274
営業活動によるキャッシュ・フロー	67,997	37,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,905	△32,936
有形固定資産の売却による収入	179	877
無形資産の取得による支出	△2,827	△3,352
投資有価証券の売却による収入	21	5
事業譲受による支出	—	△899
その他	△726	△1,260
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,258	△37,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	13,474	46,583
社債発行及び長期借入による収入	40,342	2
社債償還及び長期借入金の返済による支出	△19,876	△25,049
リース負債の返済による支出	△10,660	△10,513
非支配持分からの払込による収入	—	1,325
非支配持分の取得による支出	—	△433
配当金の支払額	△7,890	△15,644
非支配持分への配当金の支払額	△1,592	△1,801
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△6
その他	1	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,798	△5,537
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,480	3,509
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	41,057	△1,850
現金及び現金同等物の期首残高	60,631	74,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	101,688	72,353

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高意思決定機関である取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、タイヤ事業、スポーツ事業及び産業品他事業の3つの事業を基礎として組織が構成されており、各事業単位で、国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、「タイヤ事業」「スポーツ事業」「産業品他事業」を報告セグメントに分類しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービス又は事業内容は、次のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス又は事業内容
タイヤ	タイヤ・チューブ（自動車用、建設車両用、産業車両用、レース・ラリー用、 モーターサイクル用等） オートモーティブ事業（パンク応急修理剤、空気圧警報装置等）
スポーツ	スポーツ用品（ゴルフクラブ、ゴルフボール、その他ゴルフ用品、テニス用品等）、 ゴルフトーナメント運営、 ゴルフスクール・テニススクール運営、 フィットネス事業、他
産業品他	高機能ゴム事業（制振ダンパー、OA機器用精密ゴム、医療用精密ゴム等） 生活用品事業（炊事・作業用手袋、車椅子用スロープ等） インフラ事業（防舷材、工場用・スポーツ施設用各種床材等）

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

セグメント間売上収益は市場価格等を考慮した仕切価格に基づいております。

報告セグメントの数値は事業利益ベースの数値であります。

報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間（自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
外部顧客からの売上収益	461,029	49,799	29,419	540,247	—	540,247
セグメント間売上収益	676	112	636	1,424	△1,424	—
合計	461,705	49,911	30,055	541,671	△1,424	540,247
セグメント利益又は セグメント損失(△) (事業利益又は 事業損失(△)) (注1)	7,713	△1,861	2,032	7,884	12	7,896
その他の収益及び費用						△1,386
営業利益						6,510

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△) (事業利益又は事業損失(△)) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△) の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額 (注2)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	タイヤ	スポーツ	産業品他			
外部顧客からの売上収益	551,895	76,102	29,022	657,019	—	657,019
セグメント間売上収益	706	121	581	1,408	△1,408	—
合計	552,601	76,223	29,603	658,427	△1,408	657,019
セグメント利益 (事業利益) (注1)	23,297	7,164	1,577	32,038	33	32,071
その他の収益及び費用						△2,210
営業利益						29,861

(注) 1 セグメント利益(事業利益) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等が含まれております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。